

市民文芸

歌壇

岩崎 聰之介 選

稲木みなとり 払われし山峡の棚田しぐれてさむざむと見ゆ 後藤今朝雄
わが退院待つごとくに野菜臭るる人ありてうれしこの山に住む 石田みどり
曾孫にと車椅子に乗り求めたるアンパンマンの絵本これなり 山田 演
黒き扉巡らす旧き家ありて白樺の花静もりて咲く 大槻 きよ
此の秋は暫くぶりに干し柿をつくと施設の老いらはなやぐ 平間 久子
風呂吹きをうかと煮すぎて崩れさす母の出来には未だおよばず 斎藤 典子
嫁が来て食する物も様変わり見聞させぬもの味もにぎやか 遠藤 行夫
冬空のわすれず山に雪降りて落葉松林静まりかへる 阿部 英雄
亡き母の手入れ尽しし狭庭辺をピラカンサの実紅く染めゆく 寺崎 悦子
この師走心持ちだけせかされて一日が忙しくすぎてゆくばかり 後藤 正子

【評】一首目、取り残されたような、晩秋の棚田の景が伝わる。
二首目、嬉しいことがあり、改めて自身の現在を思いみる作者。一人暮らしが背景にある。
三首目、曾孫さんへのプレゼント。これならばというものを得た喜び。

俳壇

遠藤 秋尾 選

いりりと釜のご飯ありたる日 跡部祐三郎
犬よりも猫は幸せ漱石忌 山家 弘子
足音の吸込んであしぬれ落葉 寺崎 悦子
雁の棹月を離れて消えをりぬ 服部 忠孝
城山の裏道せまし枯木立 斎藤 典子

風間市長の風のことわざ

「己丑」

つちのとうし

今年「己丑」です。十二支では「牛」が充てられます。古来より牛と人間とのかわりな深く、農耕や交通・運搬などで重要な役割を果たしてきた動物です。牛は世界中で飼われていて、家畜ですが、その祖先は、今から1万5千年前の野生牛、オリロックスだとされています。家畜化されたのは紀元前6千年ごろで、西アジアの農耕遺跡から遺骨が出土されており、日本にも弥生時代には、既に渡来していたとされています。牛は荷物を運び、大地を耕す尊い動物としてあがめられていた反面、食用とされていた記録もあります。

天武天皇4(675)年には、「牛馬犬猿鶏之肉ヲ食コト莫レ」(『日本書紀』卷二九)という詔勅が発せられ、肉食禁止令が出されたそうです。また、乳製品の「酪」や「酪」「醍醐」が、平安時代まで各地で作られていたという記録がありますが、これら「酪」「酪」「醍醐」がそれぞれ、現代のバターやチーズ、ヨーグルトのどれに当たるのかは、定かではないようです。皆さんはご存じでしたか？

そして、牛は古来より人間にとって尊い動物であり、大切な財産だったよう

これらの牛に関する知識は、ある冊子の受け売りなのですが、牛に関することが、これほどさまざまな意味や由来があるのだということ、年始めに当たり気が付きました。牛と言えは、牛肉や牛乳、チーズなど、飲食のことばかり思い浮かべてしまっています。本物の牛を見るには、牧場などへ行かなければなりませんし、農耕や運搬のシーンは、現在ではテレビで見るとのみです。そして、漢字の牛編のことなど



は、今まで全く気にしたことなかったというのが事実です。良き勉強になったと思つています。「己」の今年、草木が繁茂して盛大となり、さらに整うことができるといわれている年です。昨年のさまざまな出来事を糧に、くじけない強さやあきらめない力を身に付け、牛のように歩みは遅くても、一歩一歩確実に仕事や商売、そして生活に生かしていきたいものです。私たちにはそれができます。こんな時だからこそ、今、一人ひとりが何ができるのか、何をすべきなのかを考え、行動する時です。「牛」年だけに、「モー」一歩前進させましょう。共に力を合わせて！

まちの話題

～あの日、あの時～

「北保育園のだんごさし」

1月9日、北保育園で恒例となった「だんごさし」が行われました。

「団子刺し」は、1月15日の小正月の伝統行事として、五穀豊穡と無病息災を願ひ、各家庭で行われていました。現在では、「団子刺し」を行う家庭は少なくなりましたが、昔懐かしい風情豊かな行事です。

まず、園児たちは祖父母らと共に、昔ながらの臼ときねで、約5キロのもちをつき上げました。つきあがったもちを、赤や黄、緑の食紅を混ぜ合わせ、園児たちのかわいい手で小さく団子状に丸められました。丸められたもちを、約4メートルのミズキの枝に宝船や米俵などの縁起物の飾りと一緒に飾り付けられました。

園児たちは、出来上がった色とりどりのミズキの枝を

見て、「まるでお花が咲いたみたい」と歓声を上げ、最後に、残ったもちをきなこもちにして口いっぱいにはお張り、満面の笑みを浮かべていました。



▲一つづつだんごをミズキの枝に飾り付ける園児たち



国際コーナー

International Corner

Learner's License

皆さんは、自動車運転免許をお持ちですか？ 実は、私は16歳で免許を取得しました。というのも、オーストラリアでは、16歳になるとLearner's License(路上練習許可免許)が取得できるのです。初日から路上で練習できるので、初めてのドライブは、①車両の通行量が多くて、②信号機がいくつかある、③たくさんの方が往來する場所で行いました。考え方の違いなのか、法律的な違いなのかは分かりませんが、日本のような敷地内運転教室所には、誰も通わないのです。

オーストラリアでは、16歳の誕生日に免許センターでコンピューターの運転能力試験を受け、合格すると路上練習許可免許を取得できます。テスト前まで、インターネットで練習できるし、免許センターのコンピューターでも復習できるので、ほとんど落ちる人はいません。

免許取得後1年間は、親が助手席に座り、道路や公園、駐車所などで一緒に練習します。そして17歳になった時に、再度テストを受けます。これに合格するとPライセンス(Provisional License、初心者免許)を取得し、1人で運転する権利を得ます。制限速度が時速80kmとい

うこと以外は、自由に運転できます。Pライセンスの期間は3年間で、1年ごとに、またテストがあります。全部クリアすると、公式免許がもらえるというシステムになっています。皆さんはどう思いますか？ 最後にもう一つ、オーストラリアの習慣をご紹介します。それは、路上に駐車する方が多いことです。もちろん、駐車禁止の場所もありますが、白石に来た時は、こんなに土地が多いのに、駐車場代金を毎月払わないと車を止められるところがほとんどないと聞いて、大変驚きました。オーストラリアの場合、家の前やドライブウェイに車を駐車できるので、個人の駐車場は必要ありません。

オーストラリアと日本。お互いの国の習慣を比べるのも、とても面白いことだと思いますが、2つの国には大きな共通点もあります。それは、両国とも車は「左側通行」であるということ。たとえ習慣が違って、安心して運転できますね。私は、まだ日本で運転したことはありませんが、いつか挑戦したいと思います。皆さんもオーストラリアへ行ったら、同じ車線なのでぜひ運転に挑戦してください。日本とあまり変わらないですよ！

柳壇

四電 英夫 選

ホタテ飯湯気ふつくらと今年米 阿部はぎの
独り身となりし追憶日記果つ 岩澤 伍峯
散り散りと蔵王嵐に散る紅葉 岩松 隆志
秋深みむささびのくる旅の宿 石田みどり
山茶花や散りて又咲く花いと 福原 峯子

【評】一句目、開火の火を囲む一家団らんの家は、現代ではあまり見掛けない。昔の農家などの生活である。こげ飯が香ばしかった幼いころを思う作者。炬話などが聞こえてきそうな一句である。
二句目、夏目漱石の忌日が季節。有名な吾輩は猫であるの作品と、家猫と犬とを取り合わせた一句である。
三句目、ぬれた落ち葉の上を歩いたときに、音がないうちに気付いての作品。中七の「吸込んで」が良い。

ゼロ成長経済危機に食の危機 寺崎 悦子
丸み出てきたなと思ふ定年後 大庭 良子
失言の陰に本音をしのばせる 山田 風流
除夜の鐘聞きたび寄せる老いの波 遠藤 行夫
親の夢孫の成長子の出世 宗像 孝喜
足の萎えなれど自転車止められぬ 阿部はぎの
手をかけりや命が宿る野菜たち 斎藤 典子

【評】一句目、アメリカの金融不況に端を発した経済不況は、留まることを知らない。百年に一度の大津波。治まることを祈るばかり。
二句目、喜びも悲しみもあつてこそ的人生。禍福は、あざなえる縄のごとしとか。禍いは喜びの前兆と思えば、辛さも軽くなるのでは。
三句目、除夜の鐘を聞きながら、一年の息災に感謝する。万物の霊長たる所以に思いをはせ、新年を迎える心は貴い。